

「キッズもりあげ隊」

宮城野区中央市民センター



講座レポートはこちら

1 事業概要

キッズもりあげ隊は、原町小学校と宮城野小学校から集まった子どもたちが、地域を盛り上げるための企画を考えて実施する事業です。前身の子ども商工会の活動を含めると11年目になります。企画会議を毎月1回行い、季節に合ったイベントの計画を話し合っています。まちづくりや子どもの活動支援に関心のある大学生が、話し合いのファシリテーション役を務めており、世代間や地域との交流も生まれています。



2 令和4年度の活動

(1) キッズ学園水まつり&原町商店街の仙台七夕まつり参加

8月上旬に宮城野区文化センター前の芝生広場で、水鉄砲的当てや金魚すくいなどを行いました。当日は近隣の小学校から52名の参加者が集まり、快晴の下で涼しい時間を過ごしました。キッズ隊員に加え、大学生とジュニアリーダーがイベントを手伝い、世代を超えた交流も魅力です。また、仙台七夕に合わせてキッズもりあげ隊の吹き流しを作成し、原町商店街に展示しました。



(2) キッズを救え！～ブラックサンタからの挑戦状～

「クリスマスに呪われてしまった隊員を救い出す」というテーマのなぞときイベントを実施しました。企画会議では、子どもたちが中心となってクイズの問題作成やイベントPR動画の撮影を行いました。学校の協力も得て、校内放送でイベントの告知をするなど、隊員一人一人が主役となって意欲的に活動する姿もみられました。当日は34名の参加者が集まり、クイズやなぞなどに回答してキーワードを完成させました。



3 成果と課題

子どもたちは、イベント当日だけではなく、企画立案や活動の準備も楽しみながら取り組んでいます。子どもたちの間でも縦のつながりが生まれ、高学年が中学年の子どもに手法を伝える場面も見られるようになりました。それを市民センター職員と大学生が支援することで、子どもたちの挑戦したい心を育むことにつながっています。これまで活動の中心となっていた6年生が卒業すると、経験の少ない子どもたちで企画を立てることになります。今まで以上にきめ細やかな支援体制を整えていくことが必要になります。



4 今後の展望

地域を盛り上げる企画づくりを通して、子ども自身が自分の地域の魅力を発見することも重要な視点です。これまでの地域密着型の事業だけではなく、ウェブ会議を利用して全国各地の公民館で活動する子どもたちとの交流会に参加し、仙台市や宮城野区の紹介をする準備を進めています。子どもたちの主体的な「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、地域を盛り上げるための活動を継続的に支援していきます。

